

1 路面電車観光路線の検討経緯

1 路面電車観光路線の基本方針

路面電車観光路線は、新幹線からの二次アクセスの充実や中心市街地の活性化等を図るため、本市のまちづくりにとって大変重要な地区である鹿児島港本港区への路線新設について、下記の基本方針に基づき検討を進めている。

【基本方針】

- 🚦 「陸の玄関」鹿児島中央駅と「海の玄関」本港区の結節を強化することにより、新幹線からの二次アクセスを充実するものとする。
- 🚦 天文館地区と本港区の回遊性を向上させ、本港区の集客施設との相乗効果を発揮させることにより、中心市街地の活性化を図るものとする。
- 🚦 桜島や錦江湾を車窓から眺められ、本港区に立地する様々な施設を結ぶルートとすることにより、乗客に鹿児島らしい雄大な景色を楽しんでもらうとともに、新たな魅力ある都市景観の創出を図るものとする。
- 🚦 乗車すること自体が目的となる魅力ある車両を導入するものとする。

2 検討経緯

【平成23～24年度】

- ・ 検討連絡会議を設置し、複数のルート案について整理を行った。

【平成25年度】

- ・ 県において複合施設を本港区に整備する方針が示されたことから、路面電車観光路線の基本計画策定に係る検討を当面見合わせることにした。

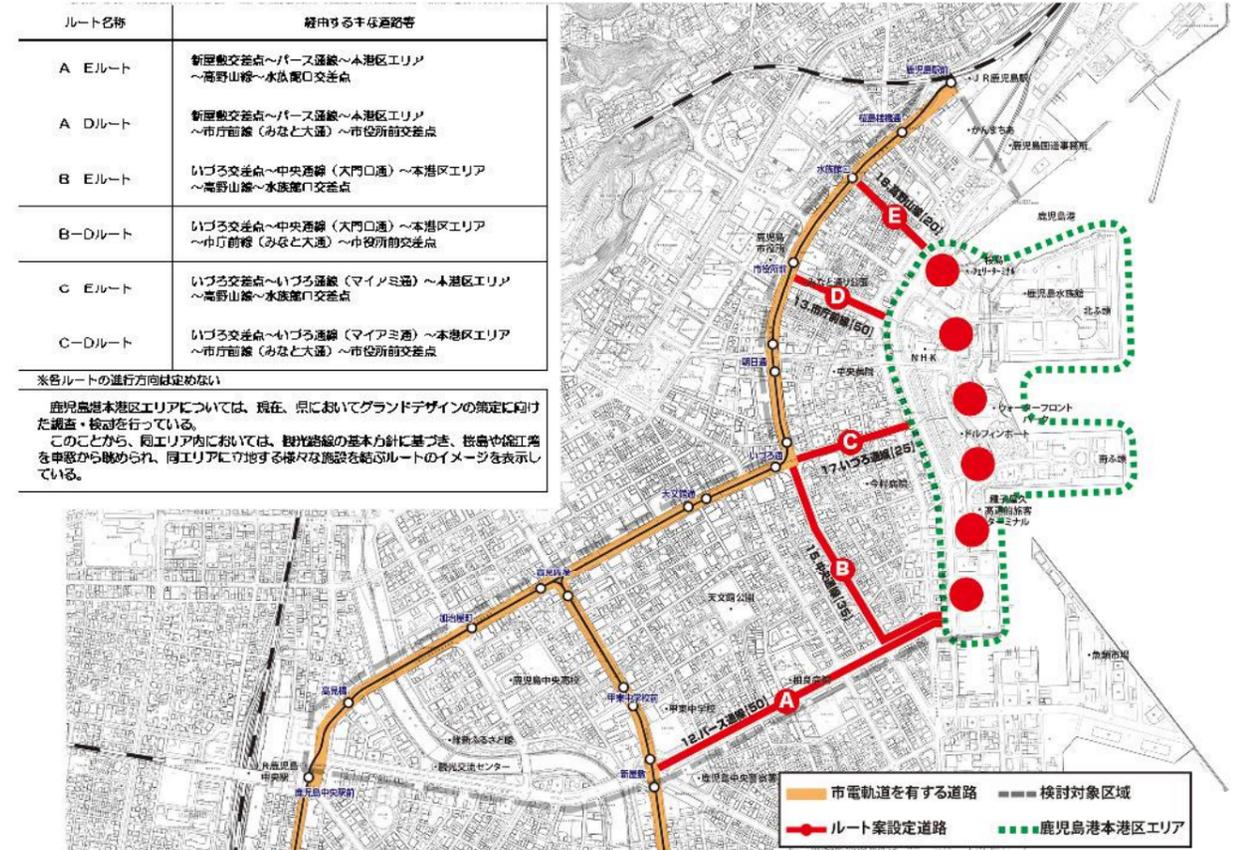
【平成28年度】

- ・ 県市意見交換会において、路面電車観光路線の新設などについて、今後とも共通認識を持って協議していくことを確認した。
- ・ 路面電車観光路線導入連絡会議を設置、開催

【平成29年度】

- ・ 継続して路面電車観光路線導入連絡会議を開催し、6つの検討対象ルートの設定や課題整理等を行った。

6つの検討対象ルート（鹿児島港本港区エリアにアクセスする5本の道路）



【平成30年度】

- ・ 31年2月に公表された鹿児島港本港区エリアまちづくりランドデザインに、「路面電車観光路線については、市の路線導入の基本方針を踏まえ、桜島や錦江湾を車窓から眺められ、本港区エリアに立地する様々な施設を結ぶルートとなることを想定する」ことなどが記載された。
- ・ 路面電車観光路線基本計画策定委員会を設置、第1回策定委員会を開催

第1回策定委員会での主な意見概要

コンパクトシティの観点からも市電延伸は重要、市民が利用しやすくなるのが大切、いづろ通り付近から高架化するのもよい、トラックやバス等関係者から意見を聞いたほうがよい、道路の横断回数が少ない「折り返し運行」方式についても検討してほしい、ナポリ通り、石橋公園、魚類市場までの延伸も検討してほしい、いづろ通線（マイアミ通り）への導入は歩道景観や渋滞を考慮すると望ましくない

【令和元（平成31）年度】

- ・ 2年2月に公表された鹿児島港本港区エリアまちづくり事業者公募要項（案）に、「路面電車観光路線については、観光客の移動手段や観光PRの面からも重要な要素であると考えられることから、基本計画策定委員会の検討内容を踏まえ、事業予定地内における想定ルートを考慮して施設の配置を提案する」ことなどが記載された。
- ・ 第2回策定委員会を開催